

## 庄内地区橋梁補修工事の紹介



平成28年4月から国道47号の東雲橋（しのめばし）の補修を行っていましたが、このたび工事が完了したので一部を紹介いたします。

東雲橋は、国道47号の庄内町清川地内の最上川と立谷沢川の合流地点に架かる橋です。昭和44年3月の完成から今年で48年経過しております。

長年の使用で橋桁や、桁を支える支承（ししょう）の腐食が進行していたため補修を行いました。

### 橋桁の補修



長い年月桁と桁のつなぎ目から、雨水が落ち続けた事で、橋桁の腐食が進んでいました。



腐食箇所のサビと塗装を落とした状態。腐食で弱くなった橋桁の一部に穴が開いています。



鋼板の穴に、新しく当て板をした上から再塗装しました。当て板は30箇所あります。

### 支承の補修



橋桁を支える支承（ししょう）。橋桁と同じく腐食が進んでいました。



橋桁と同じくサビを落とした後、金属の亜鉛を表面に溶射している状況。



金属亜鉛溶射は、腐食の進行を防ぐ事を目的としています。写真(上)は完了状況。

### その他の補修



- ・排水管は、腐食しない塩ビ管に交換しました。
- ・塗装は、橋桁の端部のサビ落とした所を再塗装しました。
- ・高欄は、主に歩道側の手摺りを更新しました。（一部車道側も更新）



桁や支承を点検出来るように、検査路と呼ばれる足場を新設しました。

日頃より国道47号を利用している方々には、工事期間中交通規制などご迷惑をおかけしていましたが、皆様のご理解とご協力のおかげで、無事に完成する事が出来ました。

今後とも国土交通省の道路事業に関して、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。